



## 「学校の当たり前を見直す」

- 6月に入り、「新しい生活様式」を導入し、新型コロナウイルスの感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しながら、部活動の再開、前期現場・校内実習の実施など、子どもたちの活動制限を緩和しました。また、延期していた交通安全教室の開催、教育相談の受け入れなど、少しずつ以前と同じような日常が戻り、地域のみなさんが学校を訪れる機会が増えてきました。
- かつの校では、社会に開かれた教育課程を実現するために、来校した地域のみなさんに、「かつの校の印象」や「かつの校への要望」をアンケート用紙に記入してもらっています。いくつか紹介します。

- 自然豊かな環境の中で、生徒一人一人が生き生きと輝いていて、いいなあーと感じます。今後もこの環境の中でしっかりと子どもたちが育って、いい姿を見られたらと思っています。
  - いつ来ても丁寧な対応をしてくださり、生徒さんたちも挨拶をしっかり行ってくれ、教育をしっかりと行っていると感じます。
  - 挨拶や態度、表情がとても好印象です。質問にも一生懸命考えて答えてくださりうれしかったです。
  - 子どもたちが明るく、一つのことに一生懸命取り組んでいます。先生たちも子どもと真摯に向き合い、とても関係がよく見えます。
  - 子どもたちの笑顔がステキで、先生方も優しい印象でした。
- 地域のみなさんと一緒に楽しく体を動かせる活動を考えてほしいです。
- ボッチャ教室は、子どもも楽しみにしているので企画してほしいです。
- リンゴレンジャーと一緒に、高齢者に特殊詐欺防止の公演をお願いしたいです。
- 個々の子どもに合った教育や指導で力を伸ばしてほしいです。

- 学校は地域社会と切れ目なくつながっていなければならない（学校文化が社会の常識からはずれてはいけない）と思います。地域のみなさんの声は、学校の「当たり前」を見直すきっかけになります。また、新たな課題を設定し、その解決策を生み出す機会を与えてくれます。これからも地域資源を活用した特色ある教育活動を展開するために、積極的に地域と連携していきたいと考えています。

